

### ◆ 日本糖尿病学会理事長 門脇 孝 教授からのメッセージ

JDCP study は厚生労働省の事業として 2006 年に開始されて以来、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会との緊密な連携のもと、2011 年からは日本糖尿病学会の事業として現在まで継続されてきました。先生方の多大なるご協力により、6,439 名の患者さんが登録されましたが、研究開始 1 年後の調査では 9 割以上の追跡率を達成することが出来、その後も順調にデータを回収させていただいております。本研究が、日本を代表する糖尿病の前向きコホート研究として成長していることに、改めて御礼申し上げます。



従来は、糖尿病患者さんの合併症といえば、細小血管障害に焦点が当たっていました。しかし、JDCP study のこれまでの研究成果を振り返ると、心血管疾患、とくに、冠動脈疾患関連のイベントが多数発生していることから、今後は、これら疾患のリスク因子の解析が待たれます。また、治療と合併症との関連についても新しいエビデンスが得られることを期待しています。

日本糖尿病学会は本研究の成果を実りあるものとするために、研究期間を更に 5 年間延長することを検討し、学術調査等倫理審査会による審議を経たのち、平成 25 年 7 月 1 日付で本件を承認しました。

先生方におかれましては、患者さんの合併症の発症と進展の阻止、ならびに QOL の向上に資するために、さらには日本発のエビデンスの構築のためにも、引き続き、本研究にご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

一般社団法人 日本糖尿病学会  
理事長 門脇 孝

(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授)

## ◆ 研究期間延長に伴うポスターによる同意について

研究期間延長に伴って、JDCP studyに参加していただいている患者さんにご説明し、同意していただく必要が出てまいりました。日本糖尿病学会学術調査研究等倫理審査委員会で検討していただいた結果、「疫学研究に関する倫理指針（平成20年12月1日改）」に則り、下記のポスターを院内に掲示して頂き、参加の延長を希望されない方に申し出ていただく、という形式をとることになりました。

先日ポスターを郵送しましたので、院内に貼っていただければ幸いです。

研究期間延長を希望されない患者さんについては、6年目の症例報告書11ページにある「追跡不能報告書」の「研究延長時に協力辞退の申し出があった」欄にチェックしていただき、データセンターまでご郵送ください。

**JDCP study**  
Japan Diabetes Complication and its Prevention Prospective study

### 研究期間の延長に関するお知らせ

当院では、糖尿病に関する研究(JDCP study)に参加しています。当初は5年間の予定でしたが、この度、更に研究期間を5年間延長することになりました。

この研究に参加されている方で、研究期間の延長を希望されない方は、診療の際に担当の先生にお申し出ください。  
本研究の延長をお断りになっても、診療を受けるうえで不利益を被ることはありません。  
ご不明な点は担当医にお問い合わせください。

施設名 \_\_\_\_\_ 担当医名 \_\_\_\_\_

JDCP study 主任研究者  
東京慈恵会医科大学  
田嶋尚子  
日本糖尿病学会 データベース構築委員会 委員長

2012年1月24日発行

また、ご施設によっては、従来の倫理指針に則って研究を進めてらっしゃるかもしれません。

その節は、院内の倫理審査規定に従って研究期間延長の手続きを取っていただきたくお願いいたします。研究計画書の電子データ等が必要な場合は、データセンターにご連絡ください。

「患者さんからの書面での同意文書」が必要な場合には、同意文書（案）を用意しております。

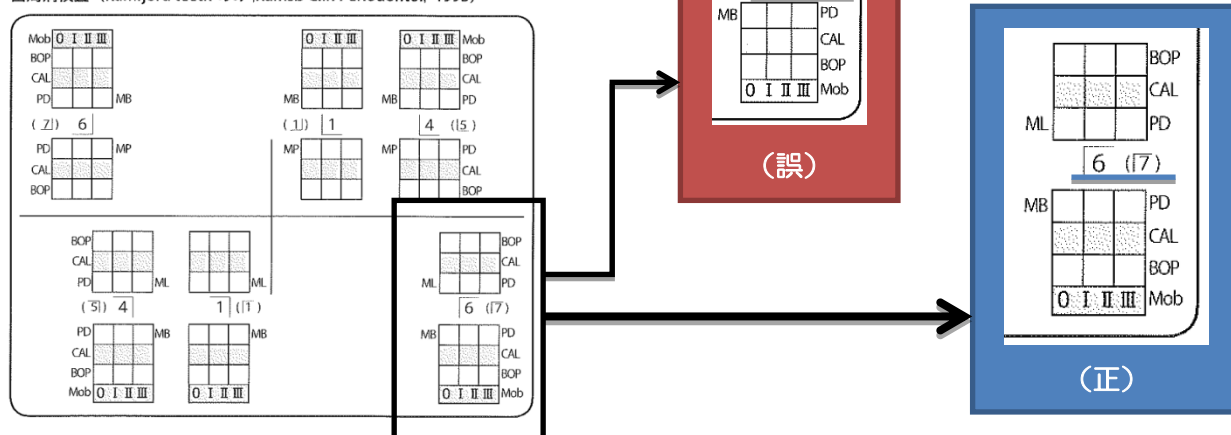
お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆ 口腔検査報告書の誤植について

症例報告書の巻末に添付されております口腔検査報告書について、報告書中段の歯周病検査欄の右下部分に誤植があることが判明いたしました。

5年目ならびに6年目報告書添付の口腔検査報告書では「歯式左下 $\overline{6}$ , ( $\overline{1}$ )」と記入されておりますが、正しくは「歯式左下 $\overline{6}$ , ( $\overline{7}$ )」となります。

歯周病検査 (Ramfjord teeth のみ, Rams:J Clin Periodontol, 1993)



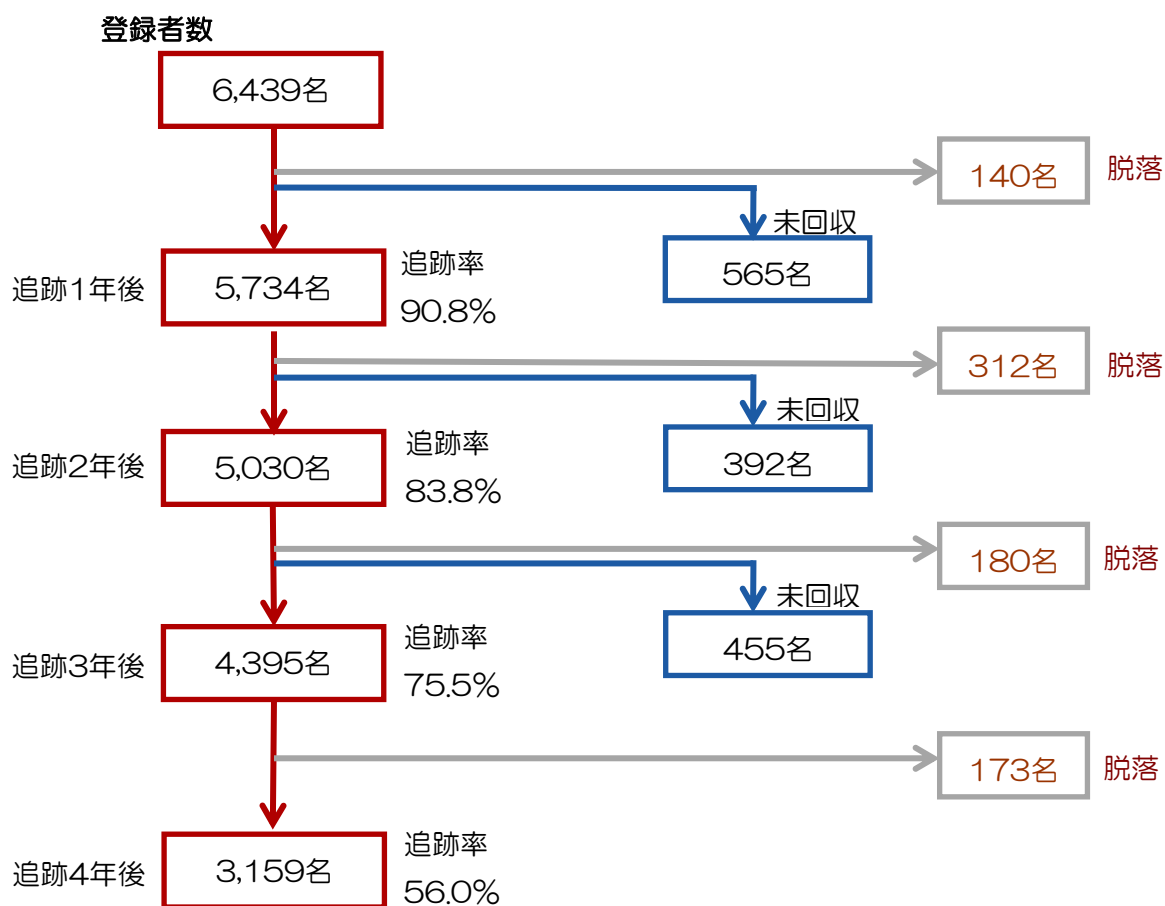
今後、5年目ならびに6年目の口腔検査報告書を記入の際は、「( $\overline{7}$ )」に訂正の上、ご記入くださいますようお願いいたします。

大変お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## ◆ 全体の進捗状況について

2013年3月末時点における症例報告書回収の進捗状況をご報告申し上げます。

追跡1年後は 5,734症例（90.8%）、追跡2年後は 5,030症例（83.8%）、追跡3年後は4,395症例（75.5%）、追跡4年後は3,159例（56.0%）のご報告をいただいております。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



※追跡率は分母から脱落数を引いて計算

(2013年3月末 現在)

今後とも、未回収症例はもとより、脱落症例につきましても、1例1例、あきらめずに追跡したいと思っております。事務局としてご協力できることは何でもさせていただきますので、ご連絡いただきたく存じます。

日常診療のお忙しい中大変恐縮ではございますが、諸先生方、医療スタッフの皆様方のより一層のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、下記 JDCP study データセンターまでお問い合わせください

TEL：0120-79-1024（平日9：00～17：30）

FAX：0120-03-1024（24時間受付）